コースコード：RH-RH199
税込価格：352,000円 (税抜価格：320,000円)
日数：5日間

トレーニング内容

RHCSA 速習コース (RH199) は、Red Hat® Enterprise Linux® 9 を対象としたコースで、Linux 管理の経験をすでに相当量積んでいる学習者向けです。このコースは、Red Hat システム管理 I (RH124) と Red Hat システム管理 II (RH134)
の重要な内容を組み合わせ、短時間でタスクを復習します。

このコースは Red Hat® Enterprise Linux 9.3 に基づいています。

ここに注目!!

ワンポイントアドバイス

受講対象者

このコースの受講対象者は次の通りです。

このコースは、現在のスキルの補強または他のチームメンバーの支援に関心がある Windowsシステム管理者、ネットワーク管理者、その他のシステム管理者、および同様の業務を担当する Linuxシステム管理者向けです。
・確立された標準と手順を使用した、Linuxシステムの設定、インストール、アップグレード、保守
・運用面でのサポートの実施
・システム管理によるシステムパフォーマンスと可用性の監視

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

・基本的な Linux
コンピューティングの概念を理解しており、システム管理タスクを実行するためのRed Hat Enterprise Linuxの手法を実践する準備ができていることが求められます。システム管理者としてLinuxを扱った豊富な現場経験が推奨されます。
・基本的な Linuxコンピューティングの概念の経験がない場合は、Red Hatシステム管理 I(RH124)コースから受講することをお勧めします。
・無料のスキルチェック(https://www.redhat.com/rhtapps/assessment/)でこのコースが自分のスキルに適切かどうかを確認してください。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

Red Hat Enterprise Linux の管理、設定、迅速なデプロイは、効率的な IT インフラストラクチャの基盤です。このトレーニングでは、チームメンバーに Linux システム管理の強固な基盤を根付かせ、インフラストラクチャを効率的に管理する能力を強化します。これにより、システムの信頼性が高まり、システムとストレージの利用効率が向上し、システム障害に迅速かつ正確に対応できるようになります。このコースでは、新しい Linux システム管理者が設定の問題の解決、Red Hat Enterprise Linux と他の既存システムの統合、ユーザーとグループの管理、利用可能なストレージソリューションの使用を効率的かつ安全に行うための基盤を構築します。Linux の基本的知識を持つコンピュータ・プロフェッショナルを、短期間で有能な Linux 管理者に育成する速習コースです。

このコースはお客様にメリットをもたらすように作られていますが、個々の会社やインフラストラクチャの特徴は異なるため、実際に得られる利点には差異が生じることがあります。

このコースを受講することで、ネットワーク接続の確立、物理ストレージの管理、基本的なセキュリティ管理など、Linux の基本的なシステム管理タスクを実行できるようになります。

以下のスキルを習得できます。
・コマンドラインへのローカルおよびリモートでのアクセス
・コマンドラインでのファイル管理
・ローカルユーザーとグループの管理
・Linux プロセスの監視と管理
・サービス、デーモン、およびブートプロセスの制御
・既存のコンテナイメージで提供されるサービスの管理
・システムパフォーマンスのチューニングプロファイルの管理
・ファイルシステム・パーミッションによるファイルへのアクセス制御
・ログファイルの分析と保存
・OpenSSH サービスの設定とセキュリティ保護
・ソフトウェアパッケージとアプリケーション・ストリームのインストールとアップデート
・Linux ファイルシステムとボリュームの管理
・Linux ネットワークとファイアウォールの管理

アウトライン

システムへのアクセスとヘルプの利用
ローカルおよびリモートの Linux システムにログインし、Red Hat Insights およびサポートから得られる問題の解決方法を探ります。

ファイルシステムのナビゲーション
bash シェルで操作して、ファイルをコピー、移動、作成、削除、および整理します。

ローカルユーザーとグループの管理
ローカルユーザーとグループ、および管理者のローカルパスワードポリシーを作成、管理、削除します。

ファイルへのアクセスの制御
ファイルに Linux ファイルシステム・パーミッションを設定し、さまざまな権限設定のセキュリティ効果を理解します。

SELinux セキュリティの管理
SELinux を使用してサーバーのセキュリティを保護して管理します。

システムパフォーマンスのチューニング
プロセスを評価して制御し、チューニング・パラメーターを設定し、プロセススケジューリングの

優先度を Red Hat Enterprise Linux システムで調整します。

ソフトウェアパッケージのインストールとアップデート
Red Hat および DNF のパッケージリポジトリからソフトウェアパッケージをダウンロード、インストール、更新、および管理します。

基本ストレージの管理
コマンドラインからストレージデバイス、パーティション、ファイルシステムを作成して管理し、スペースをスワップします。

サービスとブートプロセスの制御
systemd を使用して、ネットワークサービス、システムデーモン、およびブートプロセスを制御および監視します。

ネットワークの管理
Red Hat Enterprise Linux サーバーのネットワーク・インタフェースと設定を指定します。

ログの分析と保存
トラブルシューティングのために、システムイベントログを検索して正しく解釈します。

高度なストレージ機能の実装
コマンドラインからファイルシステムを含む論理ボリュームを作成して管理し、スペースをスワップし、Stratis および VDO で高度なストレージ機能を設定します。

将来のタスクのスケジュール
将来自動的に実行されるようにタスクをスケジュールします。

ネットワークアタッチトストレージへのアクセス
NFS プロトコルを使用してネットワークアタッチトストレージにアクセスします。

ネットワークセキュリティの管理
システムファイアウォールと SELinux
ルールを使用して、サービスへのネットワーク接続を制御します。

コンテナの実行
シンプルで軽量なサービスを単一の Red Hat Enterprise Linux
サーバー上のコンテナとして取得、実行、管理します。

注：学習内容は、テクノロジーの進歩や対象業務の性質の変化に伴って変更されることがあります。